

## 社会を 明るくする運動 強調月間

法務省は、7月を“社会を明るくする運動～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～”の強調月間とし、全国的な運動を展開しました。「社会を明るくする運動」とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。



広報活動の様子



内閣総理大臣メッセージの伝達

第69回社会を明るくする運動”秋田市推進委員会では、令和元年7月16日・17日に、広報車で市内を巡回し、内閣総理大臣のメッセージの伝達と広報活動を行い、多くの方への周知に努めました。

## 秋田市青少年育成団体情報交換会 開催

令和元年7月25日（木）、中央サービスセンターで「秋田市青少年育成団体情報交換会」を開催しました。

情報交換の前に、秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課 副主幹 千葉俊彦氏から「児童虐待と少年非行の現状について」と題して情報提供をしていただきました。『秋田県の児童数は減少しているのに対して、児童相談件数は減少することなく、ここ数年は2,300件～2,400件で推移している。ただし、児童虐待件数は増加傾向にあり、それに伴い施設入所数も増加している。児童虐待が増えることは脳に損傷を負う児童が増えることにつながり、その影響で反社会的な行動が見られるようになり犯罪に走りやすい傾向になる。つまり、児童虐待を減らしていくことが、少年非行や少年犯罪を未然に防ぐことになる。』との、たいへん参考になるお話を拝聴することができました。

その後、3つのグループに分かれ、活動内容や日程について情報を共有し、有意義な会となりました。今回提案されたご意見を参考に、次回開催に繋げていきたいと思っております。



情報提供の様子



千葉氏



情報交換の様子



## 祭 夏の特別巡回日誌から 祭



### 秋田竿燈まつり特別巡回

仲間何人かで竿燈を見に来て、イベントや店周辺で盛り上がっている子どもたちがいたが、問題のある子どもは見かけなかった。（8月5日・東部地区）



### 雄物川花火大会特別巡回

前日の大雨のせいか羽虫が大量に飛び交いたいへんでしたが、無事終了しました。人出も多く、みんな楽しんでいる様子でした。（8月11日・南部地区）



## 巡回日誌から

●終業式朝のあいさつ運動を行った。明日（7月20日）から夏休み。みんな元気にあいさつをしてくれた。今日は保護司会の人たちも一緒にあいさつした。（7月19日・雄和小・中学校前あいさつ運動・雄和地区）

●スーパー店内で中学生5・6人がノンアルコールを買うためカゴに入れていたので東警察署の女性警察官が大人の飲み物なのでいけないし、中学校で指導されているはず、と注意したところ、元の場所にもどしてくれた。巡回は東地区少年保護育成会と合同で行っていたため、2班20名くらいで巡回した。ノンアルコールを中学生が買えないことは知らなかったのが勉強になった。（7月28日・広面夏祭り・東部地区）



## 優良図書紹介コーナー

### 『カレーライスを一から作る』

著者 前田 亜紀



武蔵野美術大学「関野ゼミ」で行われた「カレーライスを一から作る」計画を書籍化したもの。スーパーマーケットで簡単に揃えられるカレーライス/materialを、この計画ではすべて一から育てて作る。野菜は種から育て、米は苗から育てる。肉は鳥をヒナから育てて自分たちで屠る。器もスプーンも塩もすべて手作りである。学生たちへのインタビューや写真も豊富で、活動の経過を具体的に知ることができる。自然の恵みや自ら育んだ命を食材として食べることから、生きるために大切なこととは何かを深く考えさせる作品である。（平成29年11月出版）



### わかくさ相談電話より



7月～9月の相談件数は10件でした。

わかくさ相談電話では、少年に関する悩みや心配事について、本人又は家族からの相談に応じます。友達、学校、勉強、進路、家族のことなど、ひとりで悩まず相談してみたいかがでしょうか。来所も可能です。ぜひ気軽にご利用ください。

わかくさ相談電話 884-3868

## お知らせ

11月1日(金)～30日(土)  
「子供・若者育成支援強調月間」  
秋田市地区少年指導委員会キャンペーン実施

11月17日(日)～23日(土)  
「あきた家族ふれあいウィーク」  
“家庭の教育力向上”のため、家族でのふれあいの時間を取ることを推奨された一週間★

お忙しいご家庭でもたまには家族全員で時間をかけて、ゆっくり食事をとりながら、家族の絆を深めてみてはいかがでしょうか♪

